

[シンポジウム]

# HIV陽性告知後に 何が起きているのか？

HIVの陽性告知を受けた後、

社会生活の中で自分自身を取り戻していく上で必要なことは何なのでしょう？

HIVの治療が進歩し「エイズ＝死」の時代ではなくなった今、問題はより見えにくくなっています。

どのような検査環境や告知のあり方が望ましいのか。

HIVという病と向き合っていく上で必要なサポートは何なのか。

シンポジウムでの講演やパネルディスカッション、

さらにはフロアからの意見や質疑などを通じて探っていきます。

■日時

2010年4月29日(木・祝) 13時30分～16時30分

■会場

津田ホール 会議室T101・102

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24

■出演者(講演・パネルディスカッション) ※出演順……

1. 井上洋士 / 放送大学 慢性看護学・健康社会学 准教授
2. 小島弘敬 / 東京都南新宿検査・相談所
3. 大木幸子 / 杏林大学地域看護学研究室 教授
4. 山元泰之 / 東京医科大学病院臨床検査医学科 臨床准教授
5. 矢島嵩 / 特定非営利活動法人ぶれいす東京 新陽性者ピア・グループ・ミーティング(PGM) コーディネーター
6. 長谷川博史 / 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス 代表

■主催

日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

特定非営利活動法人ぶれいす東京

■後援

鳥居薬品株式会社

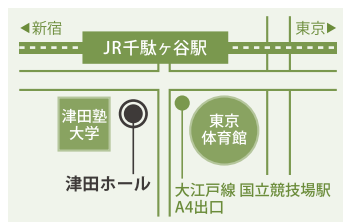
■お問い合わせ先

日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス(担当:高久)

〒160-0014 東京都新宿区内藤町1-7ホトクビル402

TEL: 03-5367-8558(平日13:30～19:30) FAX: 03-5367-8559

WEB: <http://www.janppplus.jp> E-mail: [info@janppplus.jp](mailto:info@janppplus.jp)



※ どなたでもご参加いただけます。また、事前のお申し込みおよび参加費は不要です。